返戻レセプトの取り込み・請求手順

業務メニュー「44総括表・公費請求書」をクリックします。 下部メニューより「データ取込」をクリックします。

	自賠責PD	-	データ取込	個	別指示
戻る		9) HA	Fレセ電

「ファイルを選択」をクリックします。

(T05)オンライ	ン請求結果データ取込	_									
			ファイルを選	選択選	Rされていませ	њ.					
					•						
					_		-				
No	ファイル名	対象年月	送信日時	受請		内	容	支 返	警 総件数レ	セブト件数 医	2
F1:戻る	F4:削除						F10:データ	転送		F12:DB登錡	k

レセプト返戻ファイルが保存されているフォルダよりファイルを選択し、「開く」をクリックします。 ※ 保存場所は医療機関によって異なります。返戻をダウロードした際のフォルダを選択して下さい。

😪 開<			×
← → 、 ↑ ■ > PC > デスクトップ	√ Ö	デスクトップの検索	م
整理 ▼ 新しいフォルダー			. 🔟 🔇
A 2.8			更新日時 ^
★ クイック アクセス III RECEIPTC.HEN			2024/10/0
ニーデスクトップ 🖈			
↓ ダウンロード ★			
Ε ドキュメント ★			
📰 ピクチャ 🛛 🖈			
V 8			>
ファイル名(N): RECEIPTC.HEN		5 ((2077 / 11 (* *)	~
		開<(<u>O</u>)	キャンセル
			.:

「データ転送」(F10)をクリックし、ファイルを読み込みます。



「DB登録」(F12)を押し日レセに登録します。



取り込みが終了したら「戻る」で閉じて完了となります。

※ 取り込んだデータは業務メニュー「43 請求管理」の「返戻一覧」(F5)で確認できます。

取り込み後は返戻理由に応じて、保険・診療・病名等の修正作業を行って下さい。

「42 明細書」より返戻分のレセプトデータ作成を行います。 返戻があった診療月での一括作成、若しくは個別作成で該当月のレセプトデータ作成を行って下さい。

💿 一括作成		診療年月	R 6. 9	
	医保			
	●全件			
	◯社 保			
	○国保			
	○広 域			
〇個別作成				
	○医保			
	○労災			
	○ 自賠責 (新様:	式)		
	○ 自賠責 (従来	漾式)		
	○ 自賠責 (第三	者行為)		
	○公 害			
	 ○ 目賠責(従来) ○ 自賠責(第三) ○ 公 害 	^康 式) 者行為)		

「43 請求管理」をクリックし、診療年月・患者番号を入力します。 返戻データがある場合は「返戻データあり」と表示します。

		(H01)L	ノセプト	水管理量錄	-手書き打正	入力 - 既	度法人 オルカ)本院			_	×
診療年月 H21.3 診療科	息者番号[000 日医	急者番号 00067 入外区分 日医太郎 入院外			} 提出先 支払基金	レセプト種別 保険者番号 1112 2101			記号·番 9998	88 (返展データあり 1121 326年点	
年齡 43 給付割合 7	▲人 (公)	費請求書分	請求年)請求年	月[] 月[返戻年月 [返戻年月 [1返戻無 請求 日	2921	求済	1 訂正区分	手書き修正	
	基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2		基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2	
初時間、外来管理加算、時間日、			270						270			

請求年月、返戻年月を入力し,チェックボックスをクリックし「返戻有」にし,紐付けをします。

		(H01)L	セプト語	水管理量量・	-手書き訂正	入力 - 医	療法人 オルカ	本院				-×
診療年月 H21.3) 診療科	息者番号 000 日医	57 太郎 。		一 入外区分 入院外	} 提出先 支払基金	レセプト 1112	種別保険者番 2101	7	記号·番号 9998	88	返興データ H21.3.26作	あり 成
年齢 43 給付割合 7 本	λ		請求年	F) (H21.6	返戻年月下	121.5 r	返興有 請求日	(分2)講	求演	/ 訂正区分	手書き修正	
	(公)	(請求書分))請求年	A	返展年月							
	基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2		基本点数	回数	点数	公費点数1	公費点数2	
初節			270						270			4
外来管理加算 時間外												
体是												
医学管理												

「返戻確認」(F10)を押すと返戻情報を表示します。



確認後「戻る」を押し,「登録」(F12)を押して設定内容を登録します。



ここまでの作業後、レセ電データを通常どおりの手順で作成します。

※ 再請求分のデータは元の返戻データと紐付けされレセ電に記録されます。

※ 記録された返戻データの確認は、レセ電ビューア等で確認を行って下さい。